

認知症高齢者の搜索模擬訓練 活動報告

日時：令和6年10月20日（日）9時30分～12時30分 会場：富ヶ丘公民館

1. 開会

富谷市で初めて、認知症高齢者の搜索模擬訓練を開催しました。この日はスタッフを含めて、総勢60名程度で訓練を実施しました。



（挨拶：保健福祉部長）



2. 講話

認知症の基礎知識、みまもりシールの活用方法、SOS ネットワークシステムと通報の仕方について、講師の先生方よりご講話いただきました。地域での見守りの大切さを再確認しました。



3. 搜索訓練

いよいよ搜索スタート！出発前にみまもりシールの読み取り方や声かけについて、グループで話しています。



公民館の屋内外に分かれ、搜索を行いました。



外の東屋で高齢者を発見！

「お酒とタバコを買いに行く」と、コンビニに行こうとして道に迷い、休憩していたようです。名前は言えましたが、住所は曖昧でした。声かけ役の方が住んでいる地区など、相手の状況に合わせて優しく聞き取っていただきました。道に迷っている方を見つけたら、警察や地域包括支援センター、市役所に連絡することで、早期発見に繋がります。

4. 警察ブース



みまもりシールを付けた方に声がけをし、交番（警察ブース）に相談に行きました。相手の目線に合わせることで、ご本人も安心してお話できます。実際に警察署に電話もしました。みまもりシールを読み取り、ご家族と連絡をとることもできました。

◇出張街かどカフェ☕

お休み処として、鷹乃杜街かどカフェ・街かどカフェ縁が輪（富ヶ丘北部）の皆さんに出店していただきました。外が寒かったこともあり、「美味しいコーヒーで身体が温まった」などの声がありました。



◇みまもりシールの読み取り練習

お休み処で、シールの読み取りやインターネットの伝言板を通じての保護者との連絡の取り方を確認しました。



5. グループワーク（振り返り）

各グループでシールの読み取り、声がけの方法や通報について、振り返りを行いました。「おせっかいが大切」「みまもりシールをもっと知って欲しい」など活発な意見交換がなされました。



6. 修了証の交付



搜索と振り返りを終え、訓練全体の講評を講師の先生方にいただき、最後に修了証の授与を行いました。

◇参加者の皆さんからの感想

- ・認知症の対応方法が昔と比べて、すごく変化しており、勉強になりました。
- ・みまもりシールの読み取り方や警察への連絡など詳しく説明があり、分かりやすかったです。家族で話してみたいと思います。
- ・道に迷っている方を見かけたら、勇気を出して話しかけてみたいです。
- ・“おせっかい”になりたいと思いました。

皆さまのご参加、
ありがとうございました。

